



2025年9月16日

各 位

会 社 名 K T C (京都機械工具株式会社)

代表者名 代表取締役社長 伊吹 和彦

(コード 5966 東証スタンダード)

問合せ先 コーポレートサービス本部 執行役員 川田 実

( TEL 0774-46-3700 )

## 2025年3月期（第75期）決算短信の開示が期末後50日を超えたことに関するお知らせ

当社は、本日、2025年3月期（第75期）決算短信の開示を行いました。当該開示が決算期末後50日を超えた理由及び今後の決算開示につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 決算短信の開示が期末後50日を超えた理由

当社は、2025年6月30日付「2025年3月期（第75期）有価証券報告書の提出期限延長に係る承認のお知らせ」において公表いたしましたとおり、同年6月27日付で近畿財務局長に対して当該有価証券報告書の提出期限の延長を申請し、承認されております。

決算短信の開示にあたり、当社の連結子会社である北陸ケーティシーツール株式会社において発生した不適切会計処理について、中立かつ公平な外部専門家による網羅的な調査を行う必要があると判断し、特別調査委員会を設置して調査を行い、2025年6月30日に特別調査委員会から調査報告書を受領いたしました。その調査結果を踏まえた適切な会計処理への修正、過年度を含む複数の会計期間にわたる財務諸表の見直し及び作成に相応の時間を要しました。

また、本日、過年度の有価証券報告書等の訂正報告書を近畿財務局に提出するとともに「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」について開示いたしました。これらの過年度訂正に係る詳細な検討及び処理、並びに監査手続きに時間を要したため、2025年3月期（第75期）決算短信の開示が、決算期末後50日を大幅に超えることとなりました。

#### 2. 今後の決算開示について

当社は、今回の決算短信の開示が大幅に遅延したことを厳粛に受け止めております。今後の決算開示につきましては、適切な内部管理体制の整備を進めるとともに、決算期末後45日以内の開示を目標として、適切な情報開示に取り組んでまいります。2026年3月期（第76期）第1四半期決算短信につきましては、現在開示準備を進めており、開示時期が確定次第、速やかにお知らせいたします。

このたびは、株主・投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には、多大なるご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。当社は、株主・投資家の皆様からの信頼回復に向けて、全力で取り組んでまいります。

以 上